

# 物理談話会

(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

【日時】 11月22日(金) 14:40~16:10

【場所】 大阪大学理学部本館D棟5階(D501)

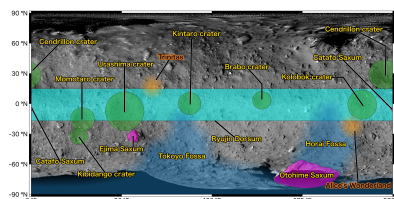
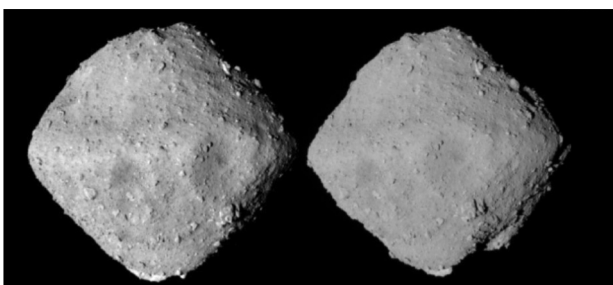
【発表者】 佐々木晶(宇宙地球科学専攻)

【タイトル】 「はやぶさ2」が明らかにした小惑星「リュウグウ」

【要旨】 小惑星探査は、はやぶさ、はやぶさ2という探査機により、日本が世界を牽引している分野である。長径500mほどのS型小惑星イトカワからのサンプルリターンに成功した「はやぶさ」に続き、「はやぶさ2」が計画された。「はやぶさ2」は、2014年12月に打ち上げられ、昨年6月に900mほどのC型小惑星リュウグウに到着した。C型小惑星は、炭素質隕石の源と考えられていて、生命の材料となる有機物や水を含んでいると考えられる。

リュウグウの密度は、 $1190\text{kg/m}^3$ で空隙率50%程度のラブルパイル(瓦礫の寄せ集め)天体である。赤道付近の盛り上がりは過去の高速時点を反映している。含水鉱物の存在を示す、2.7ミクロンの吸収帯は確認されているがその濃度は高くない。これまでにわかったリュウグウの姿を紹介する。

11月13日に「はやぶさ2」はリュウグウを離れ、帰途についた。来年末にリュウグウの岩石の破片が入ったとみられるカプセルを分離し、オーストラリアの砂漠地帯に落下させ、回収する計画である。



物理談話会(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

<http://www.phys.sci.osaka-u.ac.jp/ja/grad/rinkou.html>